

区分・種別	県指定史跡		
名称	こんどうとくざんのきゆうてい 近藤篤山の旧邸		
所在地	西条市小松町新屋敷		
所有者	個人	管理団体	
指定年月日	昭和24年9月17日		
解説	<p>近藤篤山は、江戸時代の朱子学者で、小松藩の儒官であった。明和3（1766）年、宇摩郡小林村（現四国中央市土居町）に生まれた。名は春崧、通称高太郎、篤山はその号である。</p> <p>弟（後に西条藩学沢善堂の初代教官となった三品容齋^{みしなようさい}）と共に大坂の尾藤二洲^{びとうじしゅう}の門に学び、さらに江戸の昌平齋^{しょうへいこう}にも学んだ。帰郷後川之江で私塾を開いたが、享和2（1802）年小松藩主に賓師^{ひんし}の礼をもって迎えられ、藩学（校）培達校（翌年、養正館と改称）の儒官となり、藩内はもちろん藩外多数の門人を教化した。世に「伊予聖人」と称せられた人物である。</p> <p>天保年間（1830～1844年）に建てられた表門も現存、書齋も往時のままに残されている。平成6（1994）年に旧小松町が近藤家より家屋部分の寄贈を受け、整備の後、現在は一般公開されている。</p>		

